

**カーボンニュートラル SAITAMA ネットワークに基づく
第1回計画策定／改定ワークショップ実施結果概要**

日時：令和5年7月 7日（金）14：00～16：30

令和5年7月10日（月）14：00～16：30

場所：埼玉会館 5B会議室・5C会議室

（所在地：さいたま市浦和区高砂3-1-4）

参加市町村数：17市町村（うちオンライン参加 2市町村）

議事次第

- （1）地球温暖化対策推進法と地方公共団体実行計画について
- （2）区域施策編の策定について
- （3）意見交換

会議概要

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を未策定又は改定する予定のある県内市町村を対象に、以下の事項について説明及びグループワーク等を実施した。

- （1）地球温暖化対策推進法と地方公共団体実行計画について
- （2）区域施策編の策定について

（2）においては、自団体の温室効果ガス排出量の推移や、部門別の温室効果ガス排出量を確認いただき、他団体との比較検討を実施した。

また、最後に参加者同士で意見交換を実施し、地球温暖化対策の推進に当たっての課題等を共有した。

参加者からは、今回のワークショップが有意義なものになった等の感想をいただいた。

主な意見交換内容

○人員不足・推進体制の課題

- ・地球温暖化対策を担当する職員の人数が限られており、具体的な施策等の検討を進める余裕がない。
- ・地球温暖化対策には環境行政の担当課以外の施策もあり、限られた人員で他課の施策の進捗管理を行うことは困難。

○財政面の課題

- ・区域施策編の策定に係る国の補助事業に申請したが、採択されなかったため、採択された市町村の事例を知りたい。

- ・区域施策編の策定に当たり、コンサルティング企業への委託に係る予算を要求したが、財政担当課が認めなかった。
- ・市町村が実施するE S G債について、先行事例を金融機関から聞きたい。

○地域特性を生かした施策の検討

- ・域内の多くが森林を占めているため、CO₂の吸収源対策について検討したい。
- ・小水力発電を検討しているが、発電に要する水の安定的な供給が課題である。
- ・再生可能エネルギーを活用した施策を検討しているが、域内の導入ポテンシャルが限られており、不利だと感じている。
- ・地中熱の活用に興味がある。検討を進めるために、具体事例や利点及び欠点を知りたい。

○周辺自治体との共同策定

- ・周辺市町との区域施策編の共同策定を検討しているが、具体的な策定までの予定が決まっていない。